

第28号 H27.2.12
発行者 甲斐昭児
☎ 23-3611

【めざす生徒像】

- ◆ 進んで勉強する生徒
- ◆ 礼儀正しい生徒
- ◆ 明るくたくまし生徒
- ◆ 感謝の心で、残さず食べる生徒



細野中だより

神様は誰にでも、人の役に立つ才能を与えて下さっているのですね。ある会社を見学した小学5年生がこんな感想を残しました。その子は、いったいどんな会社の何に感動したのでしょうか？



日本理化学工業株式会社は学校で使われるチョークのメーカーです。実はこの会社、従業員73名中54名の知的障がい者が働いている会社です(平成24年6月現在)。業界では一番歴史が浅いにもかかわらず、国内のトップメーカーになっています。知的な障がいがありながら、それぞれが貴重な戦力となって、手際よく一生懸命働いている姿を見て、この小学生は「才能」と呼んだのでしょうか。

障がいがあっても、製品の製造や検査ができる工夫をするなど、働きやすい環境を整えていることもこの会社の特徴の一つですが、この会社の経営方針には、社長さんのこんな思いがあるのです。それは…人間の究極の幸せは次の4つです。

- 「愛されること」「ほめられること」
- 「人の役に立つこと」「人に必要とされること」。



「あなたがいないと困る」と言われたら、誰だって会社で働くことに幸せを感じますよね。家庭や学校においても同じことが言えます。

二つの講演会で…

「いいね!」と感じたこと

名前は祈り 毛利武

名前は その人のためだけに用意された美しい祈り
若き日の父母(ちはは)が子に込めた願い
幼きころ 毎日 毎日
数え切れないほどの美しい祈りを授かった
祈りは身体(からだ)の一部に変わりその人となった
だから 心を込めて呼びかけたい美しい祈りを

《1/31 市PTA研究大会》

講師の弓削田健介(ゆげたけんすけ)さんは、全国を旅しながら年間150~200回のコンサート&各地の合唱団に楽曲を提供しているスタイルから「音楽版 山下清」と呼ばれています。温かなお話と歌の講演会でした。

左は講演で紹介された毛利武さんの詩です。「目を閉じて自分の名前を繰り返し呼んでください。だんだん、家族や友だちが自分を呼ぶ声に聞こえませんか」と言われて、やってみました。



《2/1 食育講演会「弁当の日大学 in こばやし」》

学生時代よく通った食堂のおばちゃん、いつもおかずを一品サービスしてくれた。「どうして僕にだけ?」と思いつつ、気になっていたことを、卒業を控えたある日、思いきって聞いてみた。おばちゃんのこたえは…

あなたは、「ごちそうさん。おいしかった!」って、いつも言ってくれるからね。



開会式での主催者あいさつです。お話をされたのは飛田洋県教育長。他にも、インフルエンザにはワクチンがある。人生の予防注射は、我慢する力、コミュニケーション力(困ったら「助けて」と言える力)、暮らしを構築する力(どんな時でも健康を考えた食事ができる力)というお話もされました。

体験に基づいた貴重なお話から、新しいアイデアや生きるヒントが生まれ、元気や勇気をもらいます。そんな時、「聞いてよかった」と心から思います。

「人の成長には『聞いて受けとめる力』が大切です」とは、市校長会での中屋敷教育長の言葉。

◆ 小林市青少年育成市民会議細野支部総会(2/3) ◆



小・中のPTA役員と地域の皆様にお集まりいただき、学校や駐在所からの報告、意見交換などを行いました。同時に、細野中学校区連絡協議会

に関わる事項として、小中一貫教育の現状や「細野っ子を育てる会」の予算執行について説明しました。

終了後には、中学校の学校運営協議会の皆様に、今年度の学校評価について説明し、ご意見を伺いました。お忙しい中、また、寒い中、ありがとうございました。

◆ 給食センター見学(2/5) ◆

給食委員会(平川千華委員長)の4校時から給食までの活動です。



各学級の給食委員長・副委員長10名が小林市学校給食センターを訪問しました。設備を見学させていただいた後で、給食ができる過程、食材の量、栄養についてなど、所長さんや栄養士さんからお話を伺いました。正しい野菜の洗い方のクイズもありました。

「私たちの栄養のことを考えて作ってくださっているのがよくわかりました」と、平川さんが話してくれました。



鶏肉のアーモンドからめかぶのスープ、麦ごはん

◆ なかよし交流会(2/10) ◆



市内の特別支援学級の発表会。本校を含めた担当校8校が発表しました。軸屋夕介くん(3年)、軸屋周平くん(2年)、黒木世成くん(2年)が沖縄の方言での寸劇、作文や詩の朗読、手作りのお面でひょっとこ踊りを披露しました。卒業生を送る会では、各中学校の3年生が将来に向けての決意やお礼の言葉を述べました。

お知らせ □ 市教委主催「家族の作文」

小・中学生の応募総数1,425点

～メディアとのじょうずなつきあい方～

【優良賞】 中ノ神ひいりさん(1年) 草野 由綺さん(3年)

【佳作】 西村 雅帆さん(1年)

立山 翔一くん(3年) ※ 本校は**学校賞**をいただきました。

- 宮日新聞掲載 榊木 望美さん(1年)「12キロの根性行進」
- 5日で、私立高校の発表がすべて終わりました。結果は専願・併願を合わせ、受験した延べ42名が全員合格しました。翌日には、専願の13名を対象に合格者集会を開き、卒業式を経て高校入学までの過ごし方について話をしました。
- 京都フィルハーモニー室内合奏団コンサート
2月15日(日)13:30~15:00 市文化会館【入場無料】
- 今年の桜まつりは3月28日(土)、29日(日)です。3月21日(土)には、地域の皆さんが桜並木の掃除をします。中学校も活動に参加する予定です。まきばの桜をみんなで守りましょう。